

令和4年5月吉日

乗馬団体 各位

公益財団法人兵庫県馬術連盟

第76回兵庫県民馬術大会及びRRC ひょうご 2022障害馬術競技(併催)のご案内

いつも当連盟主催競技会にご参加をいただき厚く御礼申し上げます。

新型コロナの感染状況は徐々にではありますが、沈静化の傾向にあり、以前の日常がこれも徐々にではありますが戻ってきつつあります。しかしながら、いつ何時、リバウンドするか分かりませんので、緊張感をもって感染予防に留意してまいりたいと存じております。

さて、県民大会は、1月に実施しております新春大会と同じく、初、中級馬術愛好家の皆様に、馬術競技を楽しんでいただき、これを契機に更に上を目指していただくためのものであります。

馬場馬術はA2, A3, L1, L2, M1、ジュニアライダー、ヤングライダーおよびパラ・ドレッサーージュのみとし、上級の課目に挑戦される人馬には、チャレンジ・ドレッサーージュをご用意いたしました。特にジュニア、ヤングならびにL1, L2は、全日本ジュニア馬場馬術大会ジュニア、ヤング及びチルドレンの対象課目ですので、是非良い成績を挙げて全日本に挑戦ください。

障害飛越につきましても、Lクラス以下を中心とし、さらに全日本ジュニア障害馬術大会2022への実績(～2022.7.10 まで)獲得のためにMクラスの公認競技も実施いたします。

また、兵庫地区乗馬倶楽部振興会が主催いたします「**RRCひょうご2022 障害馬術競技**」も併催します

多数の皆様にご参加いただけますことを期待いたしております。

県民大会ならびにRRC競技のいずれも、当連盟ホームページよりエントリーフォームをダウンロードしていただき、eメールで期日までに当連盟まで送信をお願いいたします。

公益社団法人日本馬術連盟公認(★)

第76回 兵庫県民馬術大会

実 施 要 項

1. 期 日 令和4年 7月 9日(土)・10日(日)
2. 会 場 三木ホースランドパーク
三木市別所町高木 TEL.0794-83-8110
3. 主 催 (公財)兵庫県馬術連盟・(公財)兵庫県スポーツ協会
4. 共 催 (公社)全国乗馬倶楽部振興協会・兵庫地区乗馬倶楽部振興会

5. 実施種目

(1) 障害飛越競技(公認:★)

日程	No.	種 目	公認	基 準
7 月 9 日 (土)	1	小障害飛越A:標準(H100, W120以下)		JEF238.2.1:基準A
	2	中障害飛越D:標準(H110, W130以下)	○	JEF238.2.1:基準A
	3	中障害飛越D*(1)(H110, W130以下)		JEF238.2.1:基準A
	4	中障害飛越C:標準(H120, W140以下)	○	JEF238.2.1:基準A
	5	中障害飛越B:標準(H130, W150以下)	○	JEF238.2.1:基準A
	6	小障害飛越C(H80,, W100以下)		JEF238.2.1:基準A
	7	小障害飛越E(H60, W80以下)		ローカル規定:基準タイム方式 基準A
	8	ジムカーナー		ローカル規定:基準タイム方式 基準C
7 月 10 日 (日)	9	中障害飛越D:Final(H110, W130以下)	○	JEF238.2.2:基準A
	10	中障害飛越D*(2)(H110, W130以下)		JEF238.2.1:基準A
	11	中障害飛越C:Final(H120, W140以下)	○	JEF238.2.2:基準A
	12	中障害飛越B:Final(H130, W150以下)	○	JEF238.2.2:基準A
	13	小障害飛越A:Final(H100, W120以下)		JEF238.2.1:基準A
	14	小障害飛越B(H90, W110以下)		JEF238.2.1:基準A
		RRCひょうご2022		JEF274.2:基準A
	15	小障害飛越D(H70, W90以下)		JEF238.2.1:基準A
16	クロス障害(H50以下)		ローカル規定:基準タイム方式 基準A	

(2) 馬場馬術競技

日程	No.	種 目	公認	基 準
7 月 9 日 (土)	1	馬場馬術 L1	○	JEF L1課目(2022年更新版)
	2	ジュニアライダー馬場馬術(1)	○	FEIジュニアライダー個人競技馬場馬術課目2009(2022更新版)
	3	ヤングライダー馬場馬術(1)	○	FEIヤングライダー個人競技馬場馬術課目2009(2022更新版)
	4	馬場馬術 M1		JEF M1課目2013(2022年更新版)
	5	馬場馬術 L1P(1)		JEF L1課目2013(2022年更新版)
	6	チャレンジ・ドレッサージュ(1)		課目は自由選択(20×60で実施する課目に限る)
	7	パレードレッサージュ I		審査課目は出場者の希望に合わせる

日程	No.	種 目	公認	基 準
7月 9日	8	馬場馬術 A3(1)		JEF A3課目2013(2022年更新版)
	9	馬場馬術 A2(1)		JEF A2課目2013(2022年更新版)
7 月 10 日 (日)	10	馬場馬術 A2(2)		JEF A2課目2013(2022年更新版)
	11	馬場馬術 A3(2)		JEF A3課目2013(2022年更新版)
	12	パドレッサーージュII		審査課目は出場者の希望に合わせる
	13	馬場馬術L2	○	JEF L2課目2013(2022年更新版)
	14	ジュニアライダー馬場馬術(2)	○	FEIジュニアライダー個人競技馬場馬術課目2009(2022更新版)
	15	ヤングライダー馬場馬術(2)	○	FEIヤングライダー個人競技馬場馬術課目2009(2022更新版)
	16	馬場馬術 L1P(2)		JEF L1課目2013(2022年更新版)
	17	チャレンジ・ドレッサーージュ(2)		課目は自由選択(20×60で自実施する課目に限る)

(注1)馬場馬術競技の実施順序はこの表の番号とは異なりますのでご注意ください。

(注2)チャレンジ・ドレッサーージュはL1, M1課目および自由演技課目は除きます。

6. 参加資格

- 1) 参加者は必ず何らかの傷害保険に加入しており、健康保険証を持参すること。
- 2) 公認種目に参加する選手は、日本馬術連盟のB級以上の騎乗者資格を有し、馬匹は乗馬登録およびグレード申請が完了していること。但し馬場馬術は「B級(馬場限定)」以上とする。
- 3) 輸入検疫解放後、所定の繋養地において隔離飼養3ヶ月を経過していない馬は参加できない。

7. 出場の規定

- 1) 非公認の馬場馬術競技には同一馬は同一種目に2回まで出場できる。なお、プロ指導者がオープン出場する場合は3回まで出場できる。ただし、公認種目は同一種目1馬1回限りとする。
- 2) 障害飛越競技においては、同一馬の同一種目への出場回数制限はしないが、季節柄、過度の使用は控えること。ただし、公認種目および「RRCひょうご2022」は同一種目1馬1回限りとする。
- 3) 馬場馬術競技は屋内競技場で、障害飛越競技は屋外競技場で同時進行で実施する。
ただし、参加人馬多数の場合は、馬場馬術競技を屋外施設においても同時に行うことがある。
- 4) 出場申し込みが1人馬のみの競技種目がある場合は、障害飛越競技については実施しない。
馬場馬術競技については演技を行わせる。
- 5) 非公認の馬場馬術種目においては、鞭の保持、折り返し手綱、ネック・ストレッチ等の使用を可とする。ただし、虐待につながる場合は、出場させない。
- 6) 公認種目及び「RRCひょうご2022」以外の種目(チャレンジ・ドレッサーージュを除く)にプロ選手あるいはプロ指導者が出場する場合は、すべてオープン参加として取り扱う。
(プロとは、騎乗や指導により報酬を得ているものを言う)

8. 審判規程

日本馬術連盟競技会規程最新版による。一部ローカル規程を使用する。

9. 褒 賞

- 1) 公認種目以外のすべての競技種目は、成年、少年の種別に分けて表彰する。
ただし、各種別2名以上の出場がない場合は区別を設けなくて表彰する。
- 2) 各競技第1位～3位までの入賞者にはメダルを、上位25%を入賞人馬とし、最多8位までの入賞馬に馬リボンを贈る。ただし、馬場馬術競技においては、平均得点率が45%未満の人馬は入賞の対象とはしない。

- 3) 各種目・種別1位の選手には、(公財)兵庫県スポーツ協会よりの賞状を贈る。
- 4) 60歳以上(今年中に60歳になる場合も含む)の選手には、もれなく「Masters Award」を贈る。

10. 出場料および馬登録料

- 1) 出場料 ①馬場馬術競技(1種目1人馬1回につき)

公認種目	12,000円
非公認種目	10,000円

 ②障害飛越競技(1種目1人馬1回につき)

公認種目	10,000円
RRCひょうご2022	10,000円
非公認で下記以外の種目	8,000円
ジムカーナー・クロス障害飛越	5,000円
ジムカーナー・クロスへの指導者のオープン参加	無料
(但し、”先通し”の場合に限る)	
- 2) 馬登録料 1頭につき 10,000円
- 3) 人馬の変更料 1件につき 2,000円
- 4) 種目変更料 1件につき 3,000円
- 5) 追加出場料 規定の出場料+2,000円
(申込期限以降のエントリーはすべて該当する)

11. 申込期限および申込先

- 1) 申込期限 令和4年 6月12日(日)午後5時必着
- 2) 参加料の納入 参加料はすべて口座振込とします。下記までお振込みください。
 金融機関名 日新信用金庫 ひよどり台支店
 口座番号 普通 0266419
 口座名義 公益財団法人 兵庫県馬術連盟
- 3) 申込方法

当連盟のホームページに掲載の申し込み書類一式に必要な事項を入力し、下記のeメールアドレスに期日までに送信ください。受信後、折り返しe-mailにて受付完了を返信いたします。なお、送信後、数日以内に着信の連絡がない場合はお問い合わせ下さい(申し込み書式はEXCELで作成しています。脆弱性があり、行や列の加除は計算式が壊れる可能性がありますのでおやめください)。

また送信がうまく行かない場合は、当連盟事務局にご相談ください。

当連盟所在地

〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番4号
 公益財団法人 兵庫県馬術連盟
 TEL. 078-743-1147 FAX. 078-741-3234
 担当:松井 久子(非常勤)

ホームページのURL <https://www.hyogobaren.jp>
 e-mail address: hyogobaren@clock.ocn.ne.jp

12. 入厩

(1) 入厩について

- 7月8日(金)午前9時以降から7月10日(日)までとする。8日(金)以前に入厩を希望する団体は、直接三木ホースランドパーク馬事部に連絡し、許可を得ること。なお、ホースランドパークは月・火曜日両日は休業。(代表番号:0794-83-8110)
- 入厩と同時に健康手帳を待機中の獣医師に提出し接種歴のチェック、馬体検査を受けること。入厩馬は、別紙記載の「三木ホースランドパーク入厩条件」を遵守すること。

(2) 退厩について

- 退厩は大会本部で健康手帳等を受領し、7月10日(日)午後6時まで完了のこと。
- 退厩に際しては、馬房ならびにその周辺を清掃し、馬糞及び湿った敷き料を所定の場所に投棄し残りの乾燥した敷き料を馬房の中央に積み上げること。その他のゴミは各自持ち帰ること。特に蹄洗場の清掃に留意のこと。

13. 服装及び馬装

日本馬術連盟競技会規程最新版の定めるところによる。(一部除外あり)

14. その他

- (1) 大会本部は7月8日(金)午前9時より 7月10日(日)午後6時まで、屋内競技場1階 競技会運営本部事務室に開設する。
- (2) 打ち合わせ会は 7月8日(金)午後4時より会場事務管理棟2F会議室でおこなう。
- (3) 人馬の事故に対しては応急の処置はするも、その責は負わない。
- (4) 選手はメディカルカードを必ず身につけていること。

- (5) ホースマネージャー夜間休憩所の利用を希望する団体は、申し込みと同時に別紙「夜間利用申請書」を提出すること。
- (6) 大会のスケジュール、厩舎馬房割り振り表、夜間休憩所利用名簿、その他お報せ事項については、開催の約2週間前までに当連盟のホームページでお知らせします。個別のお知らせはいたしませんのでご了承ください。
- (7) 参加選手は別途定める新型コロナウイルス感染症感染予防、拡散防止マニュアルを遵守すること。

以上

【重要な告知】

当連盟主催・主管のすべての競技会に参加される選手は、競技会参加の申込をもって氏名、馬匹名、所属団体名、成績及び写真を、他の選手、関係者に公表し、公益財団法人兵庫県馬術連盟及び日本馬術連盟のホームページに掲載することに同意されたものといたしますのでご承知おきください。



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業

【参加者用】

RRC(Retired Racehorse Cup)障害馬術競技実施要項

令和4年版

2022.03.09

公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会
兵庫地区乗馬倶楽部振興会

目的:引退競走馬のセカンドキャリアとして、乗馬・馬術競技は従来から最も活躍してきた場であり、その中の競技で上位入賞した引退競走馬を表彰等することにより、引退競走馬が更に多く活用され、国民に馴染みの深い競走馬の引退後の活躍を紹介することができる。それに伴い、乗馬・馬術の魅力を伝え、乗馬人口の増大を図り、更には引退競走馬の再調教技術の向上に関わる人材を育成することを目的として「奨励金」等を交付する。

以上のことより、引退競走馬が乗馬・馬術への入り口としての活躍の場とセカンドキャリアの形成、人材育成のためのリトレーニング技術の向上のほか、乗馬・馬術ファンの拡大を図ることを目的とする。

『RRC』とは、Retired Racehorse Cupの略であり、引退競走馬杯と名付けた競技である。競走馬登録されていたサラブレッドが引退し、リトレーニング後に乗用馬として用途変更した際、以下の条件を満たしている場合に出場できる障害馬術競技である。

2022年は、下記の14会場(各団体が主催する)で行われる競技会の期間中、障害馬術1種目を開催する。

1. 出場馬の条件

公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナルに血統登録(内国産、外国産を問わず)され、日本中央競馬会、地方競馬全国協会の競走馬として最終レースを平成31(2019)年1月1日以降の出走歴を持つ3歳以上の馬とする。また、未出走馬は年齢が3歳以上7歳以下とし、年齢は馬年齢(1月1日)を適応する。マイクロチップ等を用いた個体識別を行う。

競走馬として出走を終えた若いサラブレッドが出場するので、馬のウェルフェア(FEI馬のスポーツ憲章)に十分配慮すること。特に、最終出走からエントリーまでは、馬体のケアやリトレーニングのために適正な期間を設ける等の配慮をすること。

各大会とも1種目に1頭の馬が複数回出場することはできない。

なお、同年にRRC障害馬術競技に優勝した同一人馬での出場は不可とする。ただし、種目(馬場馬術・総合馬術競技)または騎乗者を変更しての出場は可とする。

2. 競技大会および競技種目

令和 4 年に開催される馬術競技大会の中で引退競走馬のみで構成される以下の障害馬術競技とする。

各 14大会を予選競技として各大会の上位 2頭(順位繰り上げの場合あり)にファイナル競技の出場権を与え、最大 28頭の決勝競技を行う。

競技は、日本馬術連盟(以下 J.E.F.という)競技会関連規程集(最新版)を準用する。

【予選競技】

J.E.F.小障害 B(90cmクラス)

基準A 第 274条 2.1~2.6(特別二段階走行競技) 11障害12飛越(1段階目6障害7飛越、2段階目 5障害)、分速 350m、1種目とし、種目名は「RRC障害馬術競技」とする。

各会場上位より 2 頭(順位繰り上げの場合あり)はファイナル競技に出場すること。

障害物のプランク等の使用は、全障害物数の 50%までとする。なお、コンビネーション障害は1段階目に設置し横木のみで構成すること。

【ファイナル競技】

J.E.F.小障害 A(100cmクラス)

基準 A 第238条2.2 10障害11飛越以内、分速350m以内

1種目とし、種目名は「RRC障害馬術競技ファイナル」とする。

※競技ルールは、競技進行上、変更する場合もある。

障害物のプランク等の使用は、全障害物数の 50%までとする。

3. 開催会場及び日程

事業推進委員会にて選定した以下の会場で実施する。

4. 出場者

① 以下の資格または同等の技量を有する者とし、安全には十分留意して、参加団体及び馬の所有者が推薦する者。

- ・本協会乗馬指導者資格
- ・本協会乗馬技能認定 2級以上
(ただし、2級は 2022年3月末までに認定された者に限る)
- ・J.E.F.騎乗者資格B級以上
- ・全日本学生馬術連盟騎乗者資格 SA級
- ・全日本高等学校馬術連盟騎乗者資格 HB級
- ・日本社会人団体馬術連盟騎乗者資格 Aグレード
- ・日本乗馬少年団連盟騎乗者資格中級以上

② 申し込みと同時に選手及び出場馬は、肖像権の使用に同意したとみなす。

5. 出場料

1回 ¥10,000 各主催者に支払う。(馬匹登録料等は各主催者の実施要項に基づく)

※各大会共に参加者は、RRC1種目のみの出場ではなく当該大会の別種目に出場することを推奨する。

6. 奨励金

完走した人馬が対象となり、下記の奨励金を授与する。

【予選競技】

- ・1種目 100万円(優勝 50万、2位 20万、3位 15万、4位 10万、5位 5万)
- ・クリアラウンド賞(減点 0で走行した人馬)3万円

【ファイナル競技】

- ・総額 200万円
(優勝 100万円、2位 40万円、3位 30万円、4位 20万円、5位 10万円)
- ・クリアラウンド(減点 0で走行した人馬)3万円
- ・予算の範囲内で輸送費補助を支出する

7. 表彰

1位から 5位までを入賞とし、大会主催者より各奨励金を交付する。

また、1位から 3位までにリボン(タスキ)を授与する。

なお、減点 0で走行した人馬に対してクリアラウンド賞を贈る。

8. 申し込み等

別に定める「RRC(引退競走馬杯)出場申書類込用紙」と各主催者の実施要項に基づいて必要な書類を指定された期日までに大会主催者へ提出すること。

9. その他

- ① 競技会を撮影した動画、画像をホームページ等で放映する。
- ② 競技開始前までにマイクロチップ等を利用して馬の個体識別を行うので、必ずマイクロチップ番号(馬の健康手帳の表紙の裏に貼付)を申込時に記載すること。
- ③ 失権した人馬には奨励金は交付しない。
- ④ 奨励金とクリアラウンド賞の交付は、各主催者から、該当馬の所有者に対して交付する。
- ⑤ 競技終了後に出場馬の要件を満たしていないこと等が判明した場合は、奨励金等を返納し、以下順位を繰り上げて表彰する。
- ⑥ この奨励金は、JRA日本中央競馬会の競馬振興特別助成金により実施する。
- ⑦ 競技開催日の 5日前に本協会のホームページ上で出場順を公表する。それ以降の人馬の変更は一切受け付けない(棄権のみ)。

RRC競技 2022実施予定

2022.03.09現在

《障害馬術競技》

No.	地域	会	場	競技会名	開催日
1	北海道	北海道	ノーザンホースパーク	北海道地区乗馬大会	10月 1日(土)
2	東北 I	秋田県	仙北市馬術競技場	東北地区乗馬倶楽部振興会地区乗馬大会	9月 25日(日)
3	東北 II	福島県	南相馬市馬事公苑	東北ホースショー	6月 26日(日)
4	関東	千葉県	東関東ホースプロジェクト	チャレンジジャンピング CHIBA	11月 13日(日)
5	北陸	福井県	福井ホースパーク	愛馬の日馬術大会	9月 23日(金・祝)
6	中部 I	静岡県	御殿場市馬術・スポーツセンター	Fuji Horse Festival	5月 3日(火・祝)
7	中部 II	静岡県	御殿場市馬術・スポーツセンター	RRC中部大会	5月 22日(日)
8	中部 III	愛知県	愛知県森林公園馬術競技場	東海ホースフェスティバル	11月 12日(土)
9	関西 I	滋賀県	水口乗馬クラブ	水口オータムカップ	10月 30日(日)
10	関西 II	兵庫県	三木ホースランドパーク	RRCひょうご 2022	7月 10日(日)
11	中国	岡山県	蒜山ホースパーク	全国乗馬倶楽部振興協会中国地区乗馬大会	8月 28日(日)
12	四国	香川県	香川県立農業経営高等学校	主基杯馬術大会	11月 26日(土)
13	九州 I	福岡県	福岡県馬術競技場	桜花 HORSE SHOW JUMPING	4月 3日(日)
14	九州 II	熊本県	熊本県立菊池農業高等学校	ホースショーインくまもと	10月 16日(日)
15	ファイナル	東京都	JRA東京競馬場	RRC障害馬術ファイナル	12月 18日(日)

※上記日程および会場は、新型コロナウイルス感染症等の影響により変更する場合があります。

※No.10の関西 IIにつきましては日程を修正しています。

《参考》

三木ホースランドパーク入厩条件

(公財)三木山人と馬とのふれあいの森協会
三木ホースランドパーク
令和2年4月1日改訂

当協会の施設に入厩する馬匹は、下記の条件を満たしてください。

【1】衛生条件

1. 繋養場所の全頭に対し、軽種馬防疫協議会が推奨するワクチンプログラムに則ったワクチン接種が行われていること。
2. 入厩前の滞在場所に馬インフルエンザ感染馬がいる場合は、当該施設からの入厩は許可しない。
3. 競技場入厩の1週間前から極力馬の移動を控え、入厩直前に発熱、咳や鼻水などの臨床症状がないことを確認すること。

【2】入厩条件

1. 下記の事項が記載された馬の健康手帳を携行すること。
 - 1) 馬インフルエンザの予防接種を以下の要領で実施した接種証明。
 - ・基礎免疫として、初回ワクチン接種を実施してから2週間から2ヵ月以内の間隔で2回目のワクチン接種が実施されていること。
 - ・基礎免疫完了後、7ヵ月以内に最初の補強接種を行い、それ以降は1年以内に継続的に補強接種を行っていること。
 - ※7ヵ月以内の間隔で春秋に実施するのが望ましい。
 - ・入厩する6ヶ月+21日以内に補強接種または基礎接種(2回目)を行っていること。
 - ・入厩する前1週間以内のワクチン接種は接種歴として認められない。
2. 入厩予定日において、輸入検疫後の着地検査中(3ヵ月)の馬匹は出場できない。
3. 馬インフルエンザが疑われる馬匹は入厩できない。出発前1週間の臨床症状をよく観察し、馬インフルエンザを疑う症状がある場合は、獣医師の検査を受けること。
4. 馬輸送用馬運車は、積み込み前にその内部をパコマあるいは逆性石鹼等で消毒すること。

以上